

国内携帯電話市場レポート

携帯電話の買替サイクルと市場展望分析

2007年11月に大手3キャリア全てが端末料金と通信料金を分離する新販売方式を開始してから端末販売台数が減少傾向で、2008年度の販売台数は前年度比2-3割減となる見込みである。その理由としては、新販売方式に伴う端末価格の高騰と景気低迷があげられる。

一方で、携帯電話端末が不調ななか、データ通信カード端末とのセット販売による低価格小型PC（以下ネットブック）の市場が急速に拡大している。今後の次世代ネットワークサービスによる通信速度向上は、同市場の拡大を後押しする可能性がある。

既存コンシューマ市場では買替サイクルの長期化による端末需要の減少が予測される。今後は、法人市場、スマートフォンなどによる個人・法人の両市場における複数台需要の拡大喚起が重要。更にネットブックのような端末との融合、周辺市場との連携による新規市場の創出が市場活性化への重要な課題となる。

本調査では、個人名義で携帯電話を利用する個人ユーザーを対象としたアンケートとキャリアが発表する各種データおよびMM総研による考察によって、携帯電話の買替サイクルと携帯電話端末市場規模や新規市場の展望について分析しています。

「分析レポート」の構成

※フルスペック版

1. 調査概要
2. 携帯電話契約数の推移・予測（～2013年度）
3. 携帯電話端市場の推移・予測（～2013年度）
4. 買替サイクルの推移・予測（～2013年度）
5. 平均端末購入金額
6. 端末購入に対する支払意思額
7. 端末購入金額と買替サイクルの関係分析による端末需要予測
8. 買替サイクル／今後の買替サイクル意向
9. 今後の買替サイクル意向による端末需要予測
10. 複数台利用（個人名義）の状況
11. 法人利用の状況
12. データ通信カードの利用状況
13. バッテリー交換の経験・今後の意向
14. 満足度
15. 機能サービスの利用頻度
16. スマートフォンについて
17. ネットブックについて
18. 今後の携帯電話
19. 通信機能が付いたら利用検討したい製品／機能・サービス



発行日：2009年3月

お問い合わせ先
MM総研：03-5777-0161（代表）

レポート内容・価格情報

- ーレポート内容ー ※フルスペック版
- ①【データ編】 約500ページ
 - ②【分析レポート】 約130ページ

- ーレポート価格ー
- <廉価版> 126万円(税別)
 - <フルスペック版> 320万円(税別)

※廉価版は「分析レポート」上記1～9の部分のみ
※上記の他、ローデータ・調査票が含まれます
※御納品はデータ形式（CD-ROM）および冊子版（データ編／分析レポート）

ユーザー調査の実施概要

- ◆調査対象：計2,500件
 - ・個人名義の携帯電話を所有している一般人
 - ・15歳から78歳までの男性および女性
- <キャリア別内訳> ※主に利用しているキャリア（上位3社）
 - NTTドコモ 1,293件
 - a u 729件
 - ソフトバンクモバイル 478件
- ◆調査方法：Webアンケート調査
- ◆抽出方法：層化抽出
- ◆調査期間：2009年2月4日（水）～2009年2月8日（日）
- ◆分析期間：2009年2月9日（月）～2009年3月24日（金）

株式会社 MM総研
〒105-0011
東京都港区芝公園1-2-4 エス・ティビル7F
TEL：03-5777-0161 FAX：03-5777-0163